



平成30年4月13日

各 位

東京都大田区大森北1丁目1番10号
 会社名 株式会社大庄
 代表者名 代表取締役社長 平了寿
 (コード番号 9979 東証第1部)
 問合せ先 専務取締役 水野 正嗣
 (TEL 03-5764-2229)

**第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正
 並びに特別損失の計上に関するお知らせ**

平成29年10月13日に公表した平成30年8月期第2四半期累計期間の業績予想と実績との差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。また、通期業績予想の修正及び特別損失の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異および修正について

第2四半期累計期間連結業績予想値との差異(平成29年9月1日～平成30年2月28日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	32,000	330	335	115	5円56銭
実績値(B)	30,627	81	81	△257	△12円45銭
増減額(B-A)	△1,373	△249	△254	△372	—
増減率(%)	△4.3	△75.5	△75.8	—	—
前期第2四半期実績 (平成29年8月期第2四半期)	32,256	194	201	△77	△3円74銭

通期連結業績予想の修正(平成29年9月1日～平成30年8月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	64,400	1,000	1,010	430	20円79銭
今回修正予想(B)	62,500	680	680	100	4円83銭
増減額(B-A)	△1,900	△320	△330	△330	—
増減率(%)	△3.0	△32.0	△32.7	△76.7	—
前期実績 (平成29年8月期)	63,957	448	382	△438	△21円19銭

2. 業績予想との差異および修正の理由

(1) 第2四半期連結業績予想値との差異の理由

売上高につきましては、飲食事業において、当社グループの既存店売上高の累計実績が対前年比97.3%と、当初計画(対前年比100%)を下回ったことなどが影響し、前回予想を下回りました。一方、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、売上高減少により売上総利益額が減少したことに加え、店舗改装に係る諸経費が増加したことなどが影響し、前回予想を下回りました。

(2) 通期連結業績予想の修正理由

通期につきましては、第2四半期の業績および近況の店舗売上高や経費の動向などを勘案した結果、前回予想を修正することといたしました。

なお、平成30年8月期の配当につきましては、当初の公表計画通り1株当たり14円(中間6円、期末8円)を予定しております。

3. 特別損失の計上

当社は、平成30年8月期第2四半期において下記の通り特別損失の計上を行います。

合計で288百万円の特別損失を計上いたします。詳細は下記の通りです。

①固定資産除却損 158百万円

店舗改装等に伴う資産の除却・解体工事費用を計上いたします。

②減損損失 51百万円

最近の業績動向及び今後の見通しを踏まえ、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、店舗設備資産等の減損処理を計上いたします。

③事業支援損 39百万円

当社の支援している職業訓練法人に対する債権について、事業支援損を計上いたします。

④店舗関係整理損 31百万円

店舗閉鎖後に発生する費用等を計上いたします。

⑤その他 6百万円

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上